



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社やまや

コード番号 9994 URL <http://www.yamaya.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員

(氏名) 山内 英靖

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長

(氏名) 久野 朋美

TEL 022-742-3115

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	28,916	7.5	798	△16.9	862	△16.3	533	△15.6
24年3月期第1四半期	26,906	0.1	961	40.3	1,030	49.5	631	118.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 530百万円 (△13.5%) 24年3月期第1四半期 613百万円 (118.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	49.18	—
24年3月期第1四半期	58.24	—

当社は平成24年2月1日付で株式1株につき1.1株の株式分割を行っております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標を表記しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	34,874	18,635	53.4	1,718.45
24年3月期	33,875	18,321	54.1	1,689.51

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 18,635百万円 24年3月期 18,321百万円

当社は平成24年2月1日付で株式1株につき1.1株の株式分割を行っております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標を表記しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	20.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	59,000	7.6	1,800	3.5	1,900	3.2	1,120	0.8	103.28
通期	120,000	7.2	3,800	5.6	4,000	4.8	2,200	2.6	202.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P5「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	10,847,870 株	24年3月期	10,847,870 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,765 株	24年3月期	3,595 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	10,844,154 株	24年3月期1Q	10,847,559 株

当社は平成24年2月1日付で株式1株につき1.1株の株式分割を行っております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標を表記しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	P	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	P	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	P	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	P	5
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P	5
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P	5
(3)	会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P	5
3.	四半期連結財務諸表	P	6
(1)	四半期連結貸借対照表	P	6
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P	8
	四半期連結損益計算書		
	第1四半期連結累計期間	P	8
	四半期連結包括利益計算書		
	第1四半期連結累計期間	P	9
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P	10
(4)	継続企業の前提に関する注記	P	11
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P	11

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、東日本大震災からの復興を背景に緩やかな回復が続き、個人消費に持ち直しの兆しが見られたものの、依然として欧州諸国の政府債務危機、円高の長期化、さらに電力供給の制約懸念により、先行き不透明な状況が続いております。

酒販業界では、供給体制が持ち直し、全国的に一昨年度の需要に復して来ましたが、業務用、ご家庭の需要は、依然として低価格志向のデフレ傾向が続いております。

このような中、当社グループは、昨年上半期の震災の影響による生産品目の削減、サプライチェーン不全による供給不足によって減少した売上高をV字に回復するため、輸入商品のお品揃えを復し、地酒、地産の商品を増やし、地域調達を強化する物流の複線化を図って、お客様の視点に立った魅力ある売場づくりを目指し、改装、出店に取り組みしました。

既存店の改装は、西多賀店、榴岡店、泉野村店、南光台南店、亘理店（以上宮城県）、鶴岡店（山形県）、洋光台店（神奈川県）、箕面船場店、吹田佐井寺店（以上大阪府）の9店舗の改装を実施し、新規の出店は、箱田店（群馬県）、的場店（埼玉県）、宝塚中筋店（兵庫県）、櫃原葛本店（奈良県）、山下公園店（神奈川県）、立町店（広島県）の6店舗を開店しました。

仙台北業務店（仙台市泉区）を仙台業務店に併合し、また、宝塚中筋店の出店により、スピード宝塚山本店（兵庫県）を閉店し、あわせて2店を閉店しました。

以上の結果、当社グループの総店舗数は276店舗になりました。

昨年第1四半期は、震災の影響で、営業時間を短縮し、売上高は、前年同期比100.1%と微増にとどまりましたが、当第1四半期は、107.5%と売上高は大きく伸張いたしました。

反面、営業時間を通常に戻したことによって、販売管理費が増大し、増益にいたりませんでした。

これらの結果、当第1四半期における連結業績は、売上高が289億16百万円（前年同期比107.5%）、営業利益は7億98百万円（同83.1%）、経常利益は8億62百万円（同83.7%）、四半期純利益は5億33百万円（同84.4%）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## 財政状態

	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (平成24年6月30日)	増減
総資産(百万円)	33,875	34,874	999
総負債(百万円)	15,553	16,239	685
うち借入金(百万円)	2,712	3,363	651
純資産(百万円)	18,321	18,635	313
自己資本比率	54.1%	53.4%	△0.7%
1株当たり純資産(円)	1,689.51	1,718.45	28.94

総資産は、前連結会計年度末と比べて9億99百万円(3.0%)増加し、348億74百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が2億32百万円増加し、商品及び製品が7億81百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて8億54百万円(5.4%)増加し167億78百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて1億44百万円(0.8%)増加し、180億96百万円となりました。

総負債は、前連結会計年度末と比べて6億85百万円(4.4%)増加し、162億39百万円となりました。

流動負債は、買掛金で10億49百万円増加し、短期借入金で8億円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて8億54百万円(6.4%)増加し、142億95百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が1億48百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて1億68百万円(△8.0%)減少し、19億43百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べて3億13百万円(1.7%)増加し、186億35百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.1%から53.4%となりました。

## ②連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	増減
営業キャッシュ・フロー	463	53	△409
投資キャッシュ・フロー	△146	△254	△107
フリー・キャッシュ・フロー	316	△200	△517
財務キャッシュ・フロー	△1,316	433	1,750

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度と比べて2億32百万円増加し、26億93百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は、53百万円となり、前年同四半期と比べて4億9百万円減少しました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益が8億62百万円、減価償却費が3億1百万円となりましたが、たな卸資産が増加し7億86百万円の資金が減少、法人税等の支払額で8億91百万円の資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、2億54百万円となり、前年同四半期と比べて1億7百万円増加しました。

主な要因は、新たに6店舗を出店し9店舗を改装したことにより有形固定資産の取得に2億17百万円を支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で得られた資金は、4億33百万円となり、前年同四半期と比べて17億50百万円増加しました。

主な要因は、短期借入金の純増加で8億円、長期借入金の返済に1億48百万円、配当金の支払に2億16百万円を支出したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点では平成24年5月8日に公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,461	2,693
売掛金	1,451	1,452
商品及び製品	9,683	10,465
仕掛品	52	58
原材料及び貯蔵品	22	21
前払費用	388	375
繰延税金資産	375	194
その他	1,488	1,516
流動資産合計	15,923	16,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,508	16,741
減価償却累計額	△9,625	△9,797
建物及び構築物(純額)	6,883	6,943
機械装置及び運搬具	2,574	2,580
減価償却累計額	△1,978	△2,013
機械装置及び運搬具(純額)	596	566
工具、器具及び備品	4,584	4,736
減価償却累計額	△3,647	△3,725
工具、器具及び備品(純額)	937	1,010
土地	4,955	4,955
建設仮勘定	6	3
有形固定資産合計	13,378	13,479
無形固定資産		
ソフトウェア	25	23
のれん	56	42
その他	24	24
無形固定資産合計	106	89
投資その他の資産		
投資有価証券	356	233
関係会社株式	305	447
破産更生債権等	36	36
長期前払費用	111	114
差入保証金	3,368	3,399
繰延税金資産	321	328
その他	32	32
貸倒引当金	△65	△65
投資その他の資産合計	4,466	4,527
固定資産合計	17,951	18,096
資産合計	33,875	34,874

## (株)やまや(9994)平成25年3月期 第1四半期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,259	9,309
短期借入金	1,500	2,300
1年内返済予定の長期借入金	595	595
未払金	895	904
未払費用	412	420
未払法人税等	957	173
未払消費税等	189	115
預り金	66	186
賞与引当金	475	198
その他	89	91
流動負債合計	13,441	14,295
固定負債		
長期借入金	616	467
退職給付引当金	32	34
役員退職慰労引当金	450	446
資産除去債務	522	527
負ののれん	117	102
その他	372	364
固定負債合計	2,112	1,943
負債合計	15,553	16,239
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	6,055	6,055
利益剰余金	9,005	9,322
自己株式	△3	△4
株主資本合計	18,304	18,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	14
その他の包括利益累計額合計	17	14
純資産合計	18,321	18,635
負債純資産合計	33,875	34,874

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	26,906	28,916
売上原価	22,220	24,064
売上総利益	4,685	4,852
販売費及び一般管理費	3,724	4,053
営業利益	961	798
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	3	6
受取賃貸料	23	20
受取手数料	8	10
業務受託手数料	2	5
持分法による投資利益	0	23
負ののれん償却額	14	14
その他	39	11
営業外収益合計	95	93
営業外費用		
支払利息	4	3
店舗改装費用	2	10
店舗閉鎖損失	—	2
賃貸収入原価	14	8
その他	5	6
営業外費用合計	26	30
経常利益	1,030	862
税金等調整前四半期純利益	1,030	862
法人税、住民税及び事業税	254	152
法人税等調整額	144	176
法人税等合計	398	329
少数株主損益調整前四半期純利益	631	533
四半期純利益	631	533

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	631	533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	△2
その他の包括利益合計	△17	△2
四半期包括利益	613	530
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	613	530

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,030	862
減価償却費	319	301
長期前払費用償却額	4	4
のれん償却額	14	14
負ののれん償却額	△14	△14
持分法による投資損益(△は益)	△0	△23
支払利息	4	3
受取利息及び受取配当金	△5	△8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△390	△276
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△4
未収入金の増減額(△は増加)	68	△44
売上債権の増減額(△は増加)	△228	△1
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,736	△786
仕入債務の増減額(△は減少)	1,704	1,049
その他	△141	△135
小計	628	942
利息及び配当金の受取額	3	6
利息の支払額	△4	△3
災害損失の支払額	△225	—
法人税等の支払額	60	△891
営業活動によるキャッシュ・フロー	463	53
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△140	△217
長期前払費用の取得による支出	△1	△7
差入保証金の差入による支出	△67	△61
差入保証金の回収による収入	54	31
その他	8	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000	800
長期借入金の返済による支出	△148	△148
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△167	△216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,316	433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△999	232
現金及び現金同等物の期首残高	3,866	2,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,866	2,693

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。